

## 【法人税の達人データ出力】

(注) 法人税の達人側の操作方法については、NTTデータの法人税の達人の操作マニュアルをご確認下さい。

### 【達人へ連携する】

決算書データを、NTTデータ社法人税の達人にXML ファイルを設定・出力する方法について説明します。

#### 1. 概要

「法人税の達人（平成21年度版）」に決算書データを出力することが出来ます。  
連携した決算書データは、電子申告を行うことが可能です。

#### 2. 連携することができる対象ソフト

平成21年度版 法人税の達人

#### 3. 対象となる決算書データ

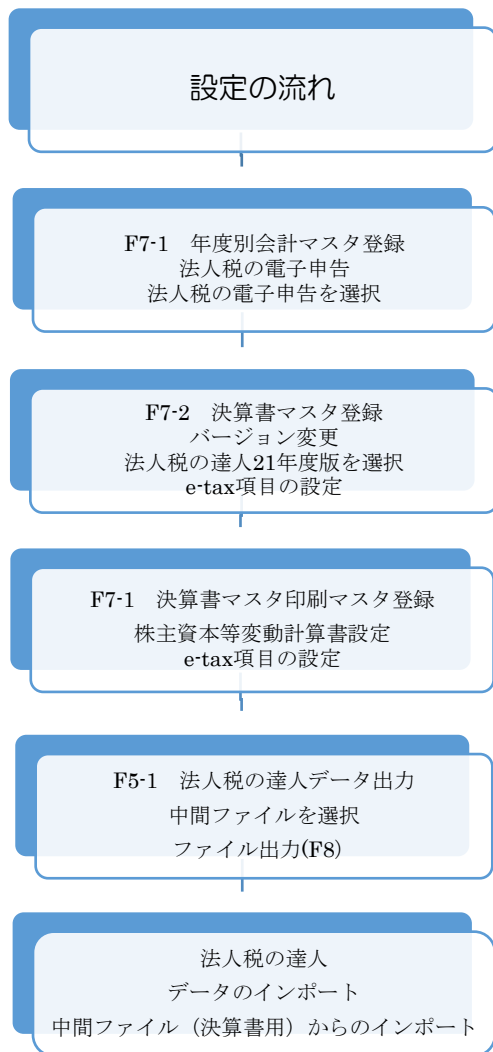
貸借対照表、損益計算書、製造原価報告書  
株主資本等変動計算書（社員資本等変動計算書）、個別注記表

#### 4. 対象となる年度・企業

平成21年度以降の申告企業

#### 5. 発展会計上の制限

決算書マスタ登録・決算書印刷マスタで、決算書マスタの設定を法人税の達人（平成21年度版）に再設定していただく必要があります。



法人税の達人（平成 21 年度版）に連携するためには、必ず以下の設定を行ってください。

事前に「決算書マスタ登録」・「決算書印刷マスタ登録」の設定が済んでおり、決算書が正常に印刷できる状態であることを前提とします。

尚、決算書項目を設定する際は、e-Tax 項目リスト（P.11）、標準設定例（P.28）もご参照ください。

NTTデータ社法人税の達人で、「決算書の作成」で「決算書の設定」を行います。具体的には、流動資産などの貸倒引当金の表示設定、有形固定資産の減価償却累計額の表示設定などになります。（下図参照）事前に申告する企業の決算書がどの内容に該当するかを選択・設定しておいてください。

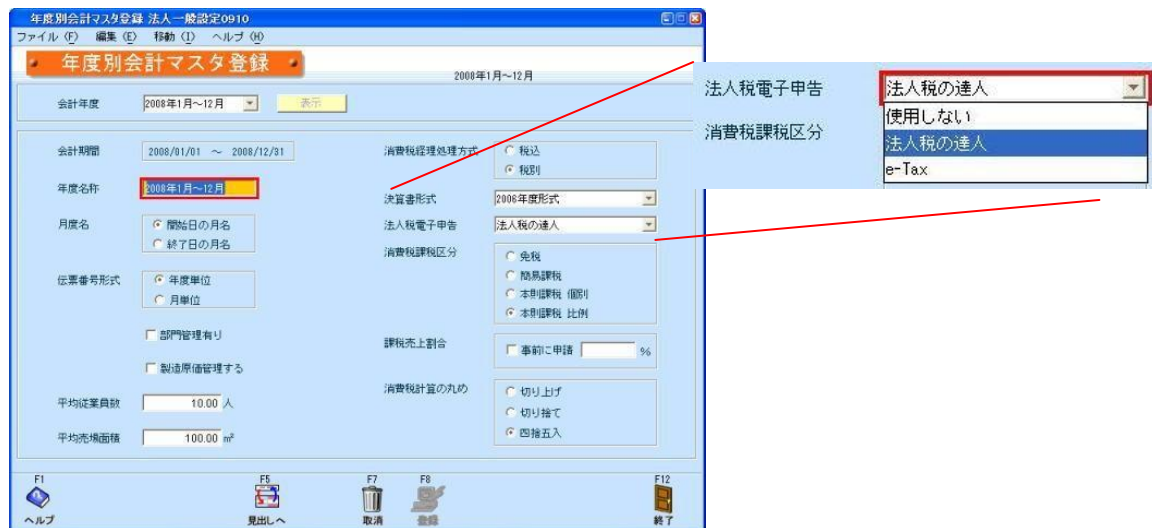
設定せずに中間ファイルを取り込むと、決算書の数字が正しく表示されなくなります。

（NTT データ：法人税の達人（平成 21 年度版）の画面参照 決算書の設定画面）

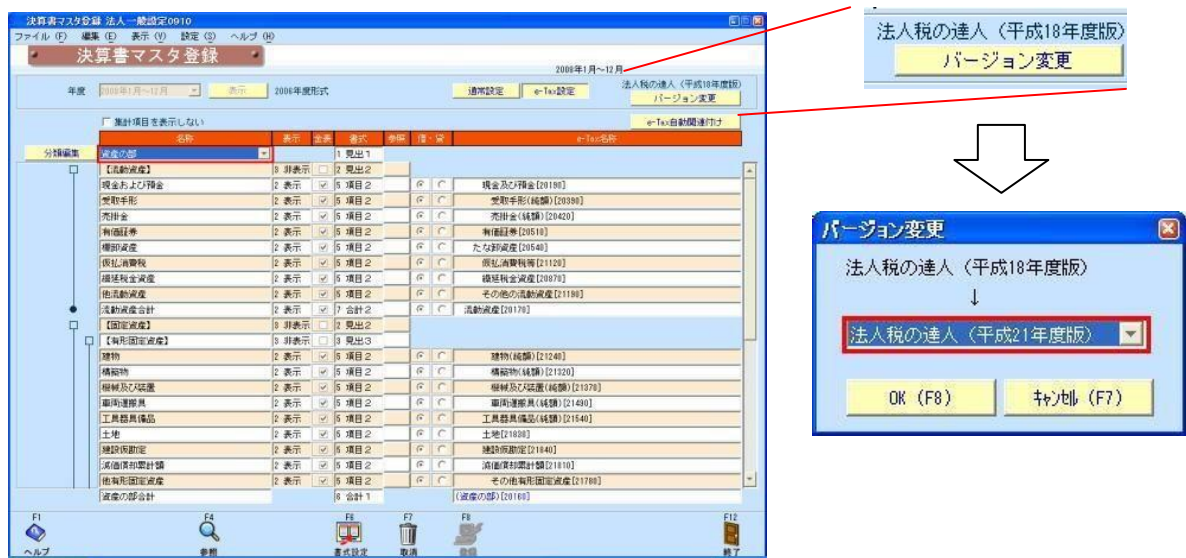
## 法人税の達人向け（平成 21 年度版）の XML ファイルを出力する

注：法人税の達人の操作方法については、法人税の達人の操作マニュアルをご確認ください。

1. 年度別会計マスタ登録で法人税電子申告の欄を「法人税の達人」に設定して、登録します。



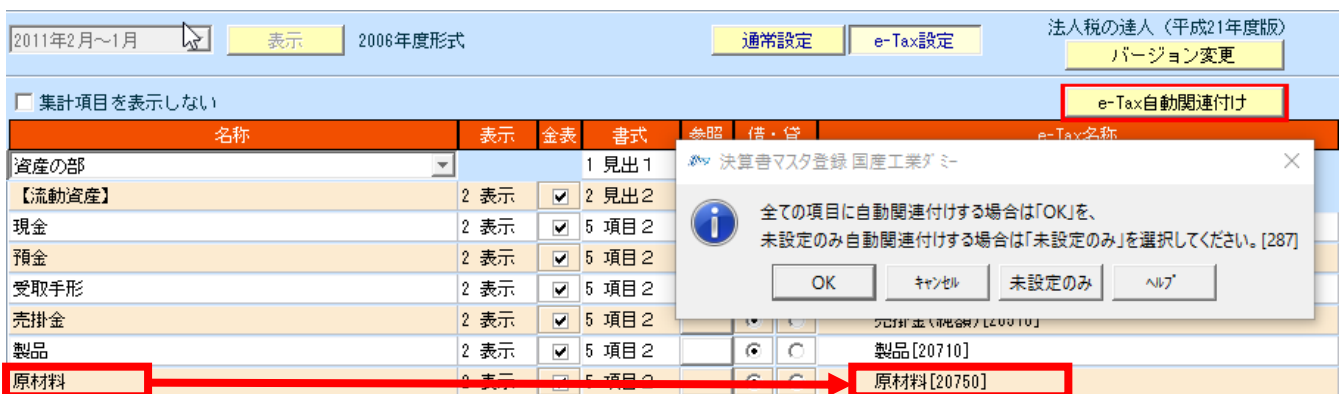
2. 決算書マスタ登録で「e-Tax 設定」を選択し、「バージョン変更」ボタンを押し、「21 年度版」を選択・OK ボタンを押します。



3. OK ボタンを押すと、下図のようなエラーが出る場合があります。変換できなかった項目の欄には「変換できませんでした」と表記されるので、該当する項目について e-Tax 項目を選択してください。



「e-Tax 自動関連付け」を選択すると、決算書印刷マスタの名称の文字列を読み取り、該当する e-tax 名称が自動的に関連付けられます



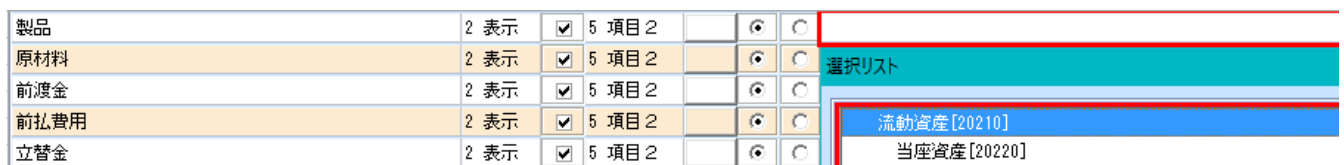
関連付けられなかったものは、F 4参照ボタンから e-Tax 名称を選択・設定してください。

空欄になっている欄は連携できませんので、基本的に何らかの e-Tax 名称を設定してください。

※「e-Tax 自動関連付け」は、名称から類推して関連付けられます。e-Tax 標準設定の項目に関連付けられるわけではないので充分にご注意ください。また、「e-Tax 自動関連付け」ボタンを押すと、上記のようなメッセージが表示されるので、空欄（未設定）のものに設定を行う場合は、「未設定のみ」を選択してください。

変更できなかった項目（標準マスタをそのまま利用している場合は、「その他特別利益」・「その他特別費用」）は、e-Tax 名称で F4 参照ボタンを押して、該当する e-Tax 項目を選択します。

※直接入力はできません。プルダウンから選択してください。



【標準版決算書の場合】

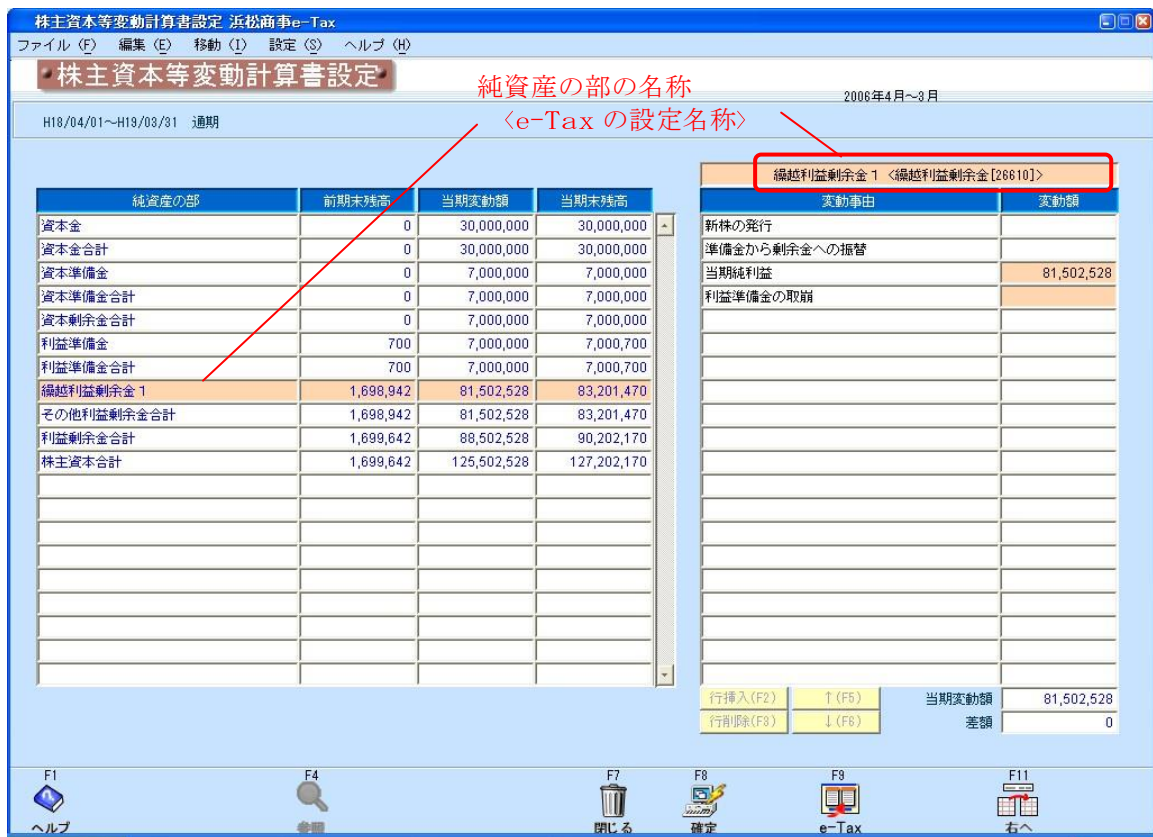
その他特別利益（コード 35840～36450）      その他特別費用（コード 36460～37600）

別紙 e-Tax 項目リスト、標準設定例をご参照下さい。

4. 登録が完了したら F 8登録ボタンで登録します。

5. 決算書印刷マスタで株主資本等変動計算書、個別注記表の設定を行います。決算書印刷マスタ画面で必ず登録が必要です。(登録せずにデータ出力すると、エラーが表示されます)

株主資本等変動計算書設定画面で、当期変動額のあるものに関して、関連付けを行います。



関連付けで変動額が色づけされているものは、変動事由と純資産項目がマッチしたものになります。変動事由・変動額を設定後、F9e-Tax を選択し、変動事由に対して、e-Tax 項目を選択します。



「e-Tax 自動関連付け」を選択すると、e-Tax 項目が自動的に設定されます。

設定が完了したら、OK ボタンを押し、確定します。

設定が完了したら、F8 確定ボタンを押して、最後に F8 登録ボタンで登録します。

6. 個別注記設定へのボタンで個別注記設定を表示します。各個別注記の見出しに内容を登録して F8 確定で登録内容を確定させます。(型の欄で、金額や日付とあるものは、数字・日付の入力を行ってください。金額・日付情報以外の内容では、データを連携しないのでご注意ください。)



個別注記設定 浜松商事e-Tax

2006年4月～3月

H18/04/01～H19/03/31 通期

e-Tax項目	型	内容
内容		
会計処理の原則又は手続の変更		
表示方法の変更		
貸借対照表に関する注記		
担保資産及び担保付債務		現金及び預金 10,204,000
資産の部から直接控除した貸倒引当金		
流動資産	金額	40,000,000
投資その他の資産	金額	13,431,920
有形固定資産の減価償却累計額	金額	539,580
保証債務額	金額	
受取手形割引高	金額	210,000
受取手形裏書譲渡高	金額	
重要な係争事件に係る損害賠償義務		特になし
不良債権の状況		特になし
受取手形中の不渡手形	金額	
関係会社に対する金銭債権・金銭債務		短期金銭債権920,431、短期金銭債務100,932
内訳	—	
科目名		
金額	金額	
取崩保留に対する金銭債権・金銭債務		
金銭債権	金額	
金銭債務	金額	
有価証券中の親会社株式	金額	
回復の見込みがあるたな卸資産等		
重要な所有権留保資産		

F1 ヘルプ F7 閉じる F8 確定

6. 法人税の達人データ出力より、該当ファイルを選択・出力して、法人税の達人でデータをに取り込みます。

印刷条件 浜松商事e-Tax-法人税の達人データ出力

法人税の達人データ出力

期間

2006年4月～3月

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期

上期 下期

第1～3四半期

通期

H18/04/01～H19/03/31 通期

○ 月度 ～ 月度

中間ファイル

貸借対照表

損益計算書

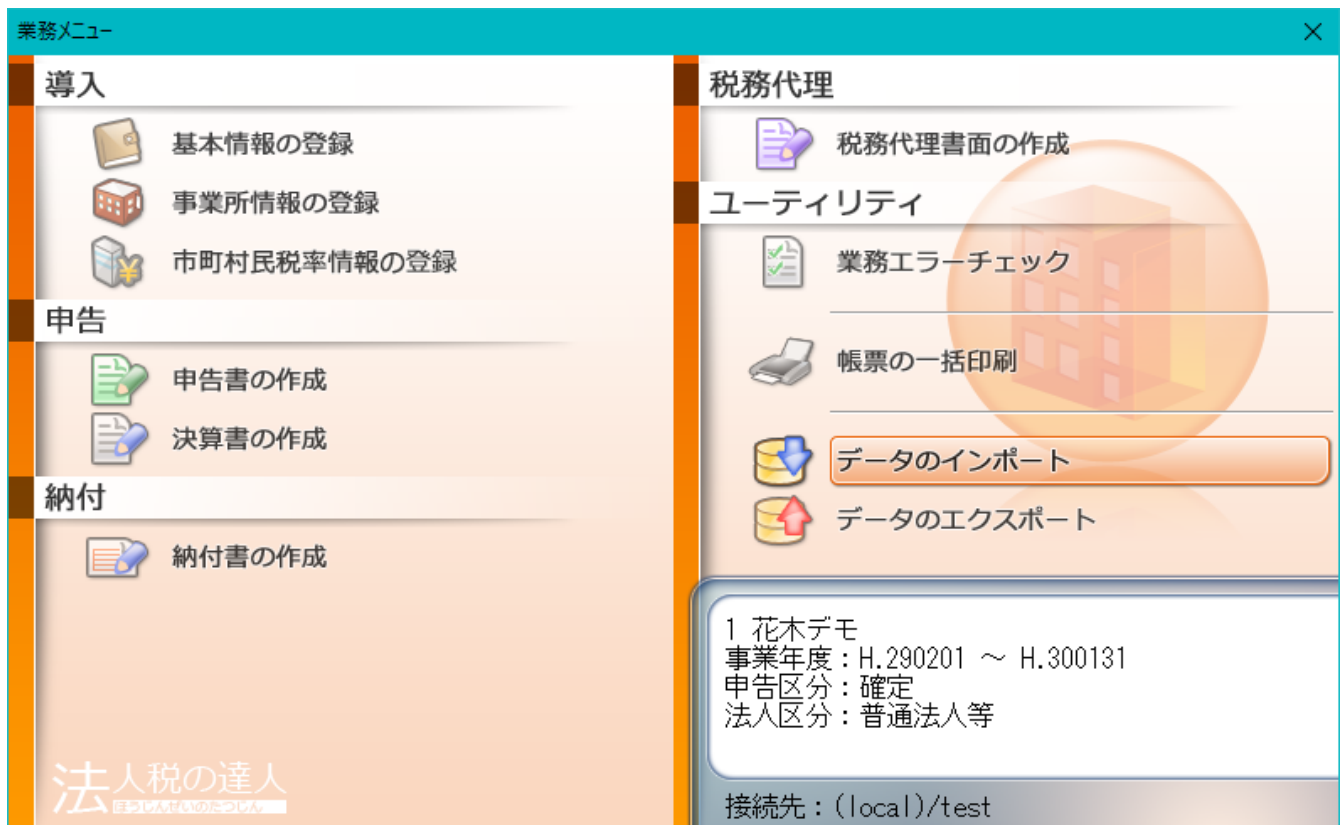
製造原価報告書

株主資本等変動計算書

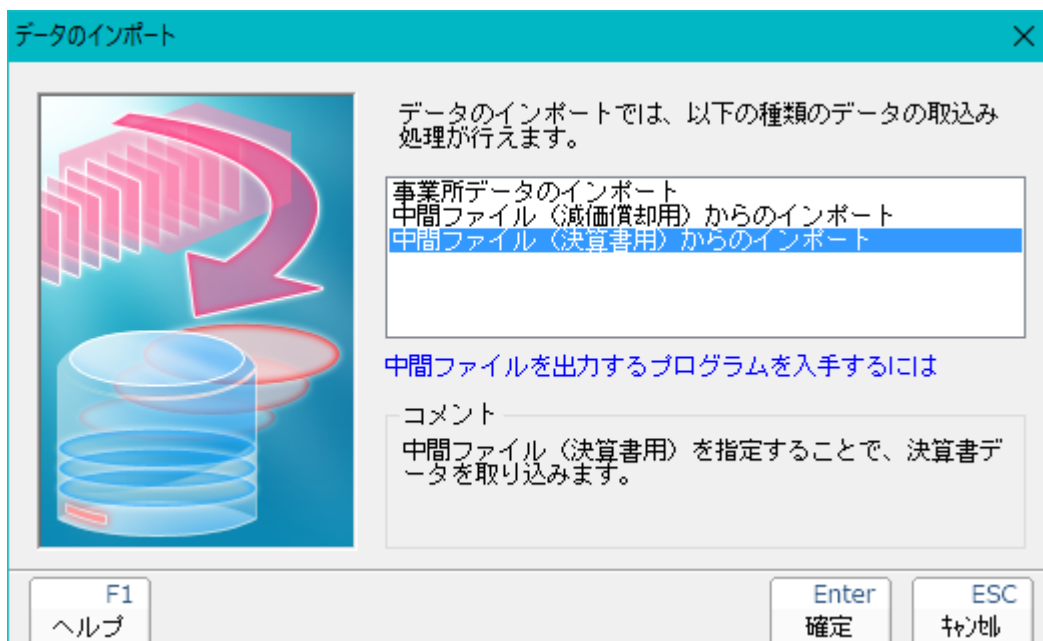
個別注記表

条件リスト(F7) ファイル出力(F8) ヘルプ(F1) 終了(F12)

7. (法人税の達人側での操作です) 法人税の達人にて、基本情報を作成したうえでデータのインポートを選択します。



8. データのインポート画面にて、「中間ファイル（決算書用）からのインポート」を選択し、確定します。



## 【よくあるご質問】

- 平成18年度版と平成21年度版ではどんな違いがあるのか。

法人税の達人では、平成18年度版は、XBRL2.0という電子申告を行うためのバージョンを利用しておりましたが、平成21年度版では、XBRL2.1というバージョンを利用しております。

このXBRL2.1のバージョンがリリースされたことで、選択できる決算書の項目数が大幅に増えました。また、XBRL2.0から名称などが変更されている場合もあります。

P.11以降のe-Tax項目リストをご参照いただき、適宜内容の修正をお願いいたします。

(平成18年度版 資産の部)

法人税の達人 (平成18年度版)	
通常設定	e-Tax設定
バージョン変更	
e-Tax自動関連付け	
e-Tax名称	
現金及び預金 [20190]	
受取手形(純額) [20390]	
売掛金(純額) [20420]	
有価証券 [20510]	
たな卸資産 [20540]	
仮払消費税等 [21120]	
繰延税金資産 [20870]	
その他の流動資産 [21190]	
流動資産 [20170]	
建物(純額) [21240]	
構築物(純額) [21320]	
機械及び装置(純額) [21370]	
車両運搬具(純額) [21490]	
工具器具備品(純額) [21540]	
土地 [21830]	
建設仮勘定 [21840]	
減価償却累計額 [21810]	
その他の有形固定資産 [21780]	
(資産の部) [20180]	

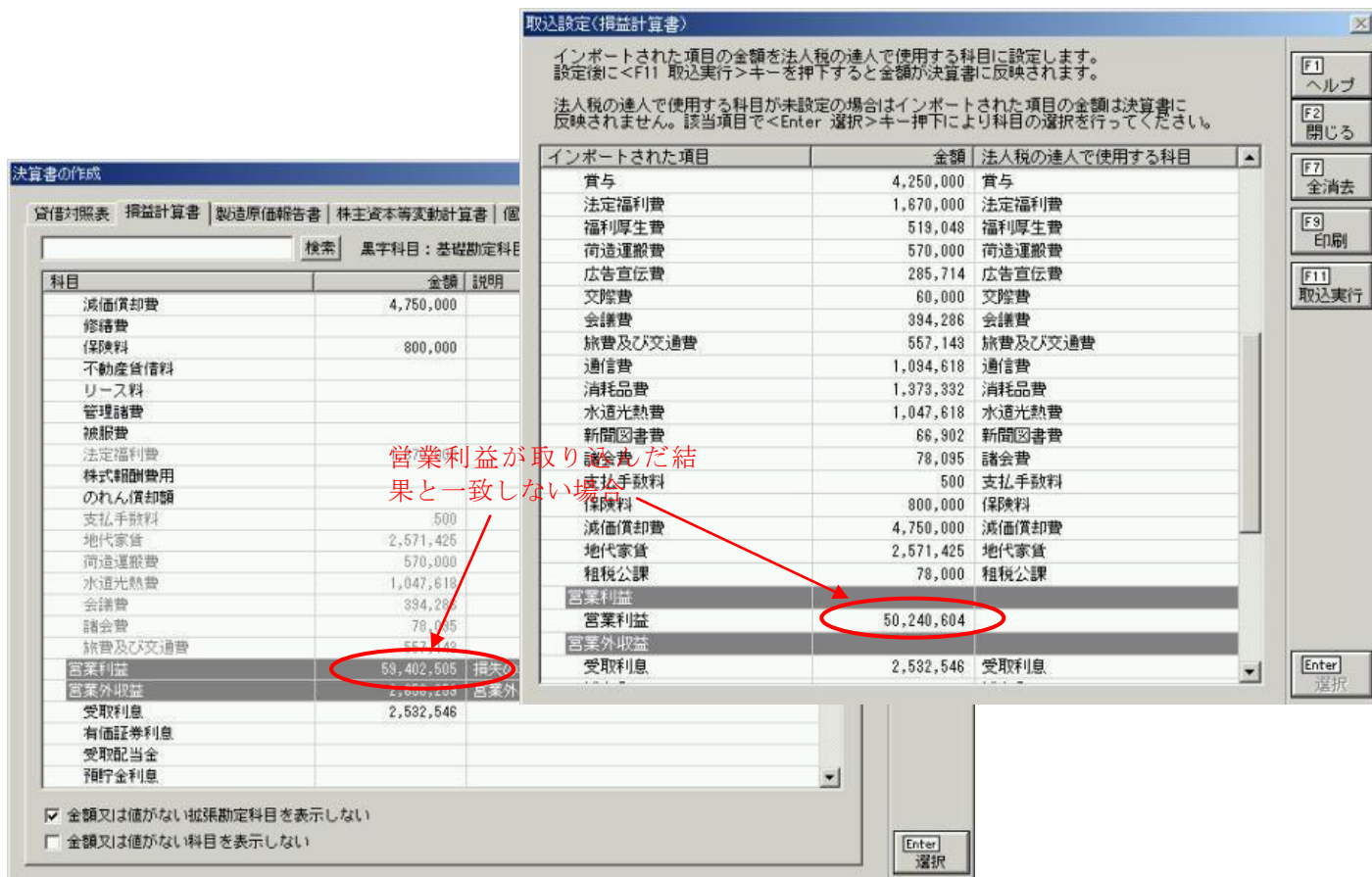
(平成21年度版 資産の部)

法人税の達人 (平成21年度版)	
通常設定	e-Tax設定
バージョン変更	
e-Tax自動関連付け	
e-Tax名称	
現金及び預金 [20230]	
受取手形(純額) [20450]	
売掛金(純額) [20510]	
有価証券 [20650]	
その他 [21700]	
仮払消費税等 [21680]	
繰延税金資産 [21060]	
その他 [21700]	
流動資産 [20210]	
建物(純額) [21730]	
構築物(純額) [21830]	
機械及び装置(純額) [21930]	
車両運搬具(純額) [22080]	
工具、器具及び備品(純額) [22180]	
土地 [22450]	
建設仮勘定 [22520]	
減価償却累計額 [22720]	
その他 [22680]	
資産の部 [20200]	

- 前回のバージョンでは決算書マスタ登録でe-Tax項目が空欄だったらエラーメッセージが出ていたが、今回は出ないのか？

平成21年度版対応の決算書マスタ登録では、平成18年度版で表示されていたエラーについては表示されません。そのため、決算書マスタ登録で意図しない箇所にデータが連動される可能性があります。法人税の達人にデータを連動した後、法人税の達人側の「決算書の設定」や「取込設定」などで、取り込まれた内容についてご確認いただきますようお願いいたします。





(NTT データ：法人税の達人（平成 21 年度版）の画面参照 決算書の作成、取得設定画面)

• どの項目を入れたらいいか、わからない。

P.1 1 以降の標準設定例、及び e-Tax 項目リストをご参照下さい。

• 達人側で表示される決算書の金額が違う。

決算書マスタ登録で、e-Tax の項目を間違えて登録（例：販売管理費の通信費を、製造原価報告書の通信費に設定したなど）した場合などは計算結果が変わって連携される可能性もあります。

また、法人税の達人で「決算書の設定」を正しく行っていない場合、選ぶパターンにより、連動される決算書データが無視される場合もあります。

• e-Tax ソフトへの連携はなくなったのか？

e-Tax ソフトへの連携はなくなっておりません。但し、法人税の達人同様設定が必要になります。年度別会計マスタ登録の「法人税電子申告」の欄で、「e-Tax」を選択していただき、決算書マスタ登録・決算書印刷マスタをご登録の上、「e-Tax 添付 XBRL 出力」で e-Tax ソフト用のデータ出力を行います。決算書印刷マスタの設定などを行っていない場合などは以下のメッセージが出ます。

